

(ベルリン十日)
日本とドイツは共に世界の大國としての役目を勤めるのに、非常に遅れて参じたので、現在の両國は共に同じやうな問題……勿論の問題は互に無關係ではあるけれども……と聞はねはならない。

このベルリン大新聞の此の音は昨日の記者團との會見に於て松下中将は依つて更に明確となつた。

中將は曰く、

今日の日本は世界大戦前のドイツと殆ど同様の地位にある。日本は經濟上の希望がある政治上経済上の希望の實現に幾多の困難を感じて居る。

常によく解り易いことを示すものである。

次の如く述べて居る。

日本は其の生存問題及工業製品の販路擴張問題で今日苦悶して居る。此の販路擴張問題は

（ベルリン十日）

イギリス階級代表の實言葉に實言葉じごとづく、そんきことと定めた五回はつまる。

そこで一部では該事法を改めて中止するとの諭を以ての内閣の松下中將以下の日本海軍將校のドイツ訪問に對し、各種の如きやう遇にある國が平和を維持する意志はなくとも主張する意志はなくとも主張するものである。

日本は其の國土狭少より来る國民の生存問題及工業製品の販路擴張問題で今日苦悶して居る。

伯國憲法審議會は講論ばかり多く、論争の進行週々とて中の歩みに似たり。

最初の豫定で五回位で

満千里に片附けることになつたが、一寸でも猶かた居れば選舉區で幅がきかない

さて排日條項たる第百六十条は「大本カーダー」案と府案とでも思つて居るのか、吾も

現在票決の基本になつて居る。

伯國憲法審議會は講論ばかり多く、論争の進行週々とて中の歩みに似たり。

最初の豫定で五回位で

満千里に片附けることになつたが、一寸でも猶かた居れば選舉區で幅がきかない

さて排日條項たる第百六十

条はどうなつて居るか、吾も

現在票決の基本になつて居る。

伯國憲法審議會は講論ばかり多く、論争の進行週々とて中の歩みに似たり。

